# ◎ 展開する事業群(3-1-1)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(1)	地域における子育て支援の推進
基本施策分野	1	地域の教育力・社会力の向上

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	18年度実績	17年度実績
生涯学習人材バンク	○生涯学習事業保育ボランティア事業 (市民の生涯学習事業支援のための人材派遣・斡旋)	社会教育	H17~21		保育ボランティア登録者数 16人(市教委主催の講座等で活躍)
子育てセミナーの開催	○地域子育でセミナー (再掲1-(2)-①)	社会教育	H17~21	市内9小学校区で青少協・PTA・民生児童委員等子ども達にかかわる方が中心となって、子育てのセミナーを開催したまた講義(座学)だけでなく物つくりをとおして子どもと保護者とのふれあいなどのセミナーを開催した 桃園小学校区 7月4日 60名 田辺東小学校区 12月6日 30名 新小学校区 2月28日 14名 三山木小学校区 12月9日 55名 草内小学校区 10月14日 150名 大住小学校区 1月25日 81名 田辺小学校区 1月17日 35名 松井ヶ丘小学校区 11月27日 22名 普賢寺小学校区 11月25日 200名	
学校開放事業の推進	○学校施設の開放 (第2・4土曜の午前中、各小学校の体育館とグラウンドを開放し、管理指導員を配置) (再掲3-(1)-⑤)	社会教育	H17~21	(再掲3-(1)-⑤)	(再掲3-(1)-⑤) 年間 18回 総利用者数 11,216人
ふるさと体験学習の推進	○ふるさと体験学習 (再掲2-(1)-⑤)	社会教育	H17~21	(再掲2-(1)-⑤)	(再掲2-(1)-⑤) 9地域委員会 合計 74事業 参加総数 8,421人
子どもの居場所づくりの推進	○子どもの居場所づくりの推進 (子どもたちが自由に過ごせる場の確保と様々な事業や体験ができるような機会、人材の提供) (再掲2-(1)-⑥)	社会教育	H18~21	(再掲2-(1)-⑥)	(再掲2-(1)-⑥) 18年度から実施

# ◎ 展開する事業群(3-1-2)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり	
施策目標	(1)	地域における子育て支援の推進	
基本施策分野	2	地域における世代間交流等の推進	

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	18年度実績	17年度実績
高齢者等との交流の促	○大住ふれあいセンターでの交流事業の推進(★)	こども福 祉健康介 護	H17~21	事業として行ってはいないが、挨拶など自然なふれあいはある。 高齢者から卓球や手品など教わり、楽しく過ごしている児童もある。	事業として行ってはいないが、挨拶など自然なふれあいはある。 高齢者から卓球や手品など教わり、楽しく過ごしている 児童もある。
進	○保育所地域活動事業 ・世代間交流事業 (保育所児童の老人福祉施設等への訪問活動の 実施)	こども福 祉	H17~21	囲碁・餅つき・観劇会・洛南寮・つつきの郷への訪問 28回 /年	囲碁・餅つき・観劇会・洛南寮・つつきの郷への訪問 22回 /年
ふるさと体験学習の推進	○ふるさと体験学習 (再掲2-(1)-⑤)	社会教育	H17~21	(再掲2-(1)-⑤)	(再掲2-(1)-⑤)9地域委員会 合計 74事業 参加総数 8,421人

## ◎ 展開する事業群(3-1-3)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(1)	地域における子育て支援の推進
基本施策分野	3	地域における子育て支援団体等の活動の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	18年度実績	17年度実績
民生児童委員・主任児童 委員による子育て支援事 業への支援	○子育てサロンへの支援 (人的な支援等により地域における民生児童委員・ 主任児童委員の子育て支援事業を支援)	社会福祉		親同志、子同志の気軽な交流の場として、地域において実施されている子育て支援事業を人的な支援等により支援した。	親同志、子同志の気軽な交流の場として、地域において実施されている子育て支援事業を人的な支援等により支援した。
子ども会育成事業の推進	○子ども会育成事業 ・地域子ども会の育成と支援 ・ジュニアリーダーと指導者研修	社会教育		2回 延21人	京田辺市地域子ども会指導員研修会 2回開催 参加者数41人 ・京田辺市地域子ども会ジュニアリーダー研修会 1回開催 参加者数 27人

# ◎ 展開する事業群(3-1-4)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(1)	地域における子育て支援の推進
基本施策分野	4	仲間づくり、子育て支援のネットワークづくりの推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	18年度実績	17年度実績
	○ふれあい広場(つどいの広場)の実施 (児童館)	こども福 祉	H17~21	延べ利用者数(保護者を含む) 田辺児童館 236人、普賢寺 児童館 440人、大住児童館 16,550人 合計 17,226人	延べ利用者数(保護者を含む) 田辺児童館 454人、普賢寺児童館 408人、大住児童館 16,387人 合計 17,24 9人
	<ul><li>○親子教室の実施 (普賢寺児童館、大住児童館)</li></ul>	こども福 祉	H17~21	延べ利用者数(保護者を含む) 普賢寺児童館 8,789人、大 住児童館 3,428人 合計 12,217人	延べ利用者数(保護者を含む) 普賢寺児童館 8,580人、 大住児童館 2,269人 合計 10,849人
仲間づくりの支援	<ul><li>○園庭開放 (保育所、地域子育て支援センター)</li></ul>	こども福 祉	H17~21		保育所 4園 69回 延べ 494人 地域子育て支援セン ター 84回 延べ4, 393人
	○子育てサロン (地域子育て支援センター)	こども福 祉	H17~21	7回 延べ342人	14回 延べ222人
	○親子なかよし学級 (幼稚園)	学校教育	H17~21	次年度3歳児として幼稚園に入園予定の2歳児とその保護者を対象に親子で遊ぶ場を提供し、2歳児の望ましい成長や発達を促すとともに、保護者どうし子育てについて学び合う場とする。 月1回 6月~2月計8回実施	次年度3歳児として幼稚園に入園予定の2歳児とその保護者を対象に親子で遊ぶ場を提供し、2歳児の望ましい成長や発達を促すとともに、保護者どうし子育てについて学びあう場とする。6月~2月月1回計8回開催した。
	<ul><li>○子育てサークルの支援</li><li>・サークルリーダー交流会</li></ul>	こども福 祉	H17~21	11月7日実施 小児科医による講演会と座談会 参加 9サークル29名 一般 3名	12月15日 実施 参加数 8サークル
育児サークルの支援	○育児サークル支援ボランティアの支援	こども福 祉	H17~21	サークル活動にえぷろんママ・保健師の派遣を行った。	サークル活動にえぶろんママ・保健師の派遣を行った。
	<ul><li>○活動場所の提供等 (児童館、地域子育て支援センター)</li></ul>	こども福 祉			延べ利用者数(保護者を含む) 田辺児童館 325人、南山こどもセンター(子育てサークル 302人、子ども会活動 371人) 合計 998人 ・公民館、住民センターの使用申請を行った。

# ◎ 展開する事業群(3-1-5)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(1)	地域における子育て支援の推進
基本施策分野	(5)	学校等における地域との交流の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	18年度実績	17年度実績
地域に開かれた保育事業の推進	○保育所地域活動事業 ・保育所体験事業(園庭開放) ・育児講座 ・世代間交流事業(再掲3-(1)-②)	こども福 祉	H17~21		園庭開放 4園 69回/年 育児講座 1園 3回/年
個性を生かす教育の推進	○特色ある学校づくり ・社会人講師の活用 ・ボランティア受入れの促進	学校教育			同志社大学等の学生ボランティアによる学習支援を1月から 実施した。(ボランティア登録者数 15人)、また総合的な学 習の時間等で地域の人材を活用した。社会人講師謝金 小 学校582千円、中学校255千円
学校開放事業の推進	○学校施設の開放 (地域での活動の場として第2・4土曜の午前中、各 小学校の体育館とグラウンドを開放し、管理指導員 を配置)	社会教育	H17~21	,	年間 18回 総利用者数 11,216人

# ◎ 展開する事業群(3-1-6)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(1)	地域における子育て支援の推進
基本施策分野	6	大学との連携の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	18年度実績	17年度実績
留守家庭児童会支援ボランティア	<ul><li>○留守家庭指導員としての学生ボランティアの受入れ(★)</li></ul>	社会教育	H17~21		未実施
入子 C 地域 C ジューティ	<ul><li>○大学と地域とのコーディネイト事業(★)</li><li>(大学と地域の活動の連携のためのコーディネイターの設置と活用)</li></ul>	社会教育	H18~21	地域住民が中心となって分館公民館で実施している「子どもの 居場所づくり」事業に学生が参加、運営協力を行った。	平成18年度から実施
チガッル夫・阿工CI回住 な生かよ数さの推准	○特色ある学校づくり ・ボランティア受入れの促進 (再掲3-(1)-⑤)	学校教育	H17~21		(再掲3-(1)-⑤) 同志社大学等の学生ボランティアによる学習支援を実施した。